

海岸の仕事ってどんなこと？

胆振海岸は、北海道南西部（苫小牧市～白老町）に位置し、背後には重要交通網（国道36号、JR室蘭本線）及び住宅が隣接しています。

昭和40年代に入り、海岸侵食や越波による護岸の倒壊、住宅への被害が多発したことから、北海道開発局は昭和63年度に直轄海岸保全施設整備事業に着手しました。

海岸侵食対策及び越波対策を目的として事業を進めており、更なる安全・安心の確保に向けて、令和8年度に北吉原工区における人工リーフ設置作業に着手しました。



胆振海岸（人工リーフと白老町市街地）

防護機能の向上



緩傾斜護岸（手前）を整備することで波の打ち上げが低くなりました。
（※奥は従来の直立護岸）

利用面の向上



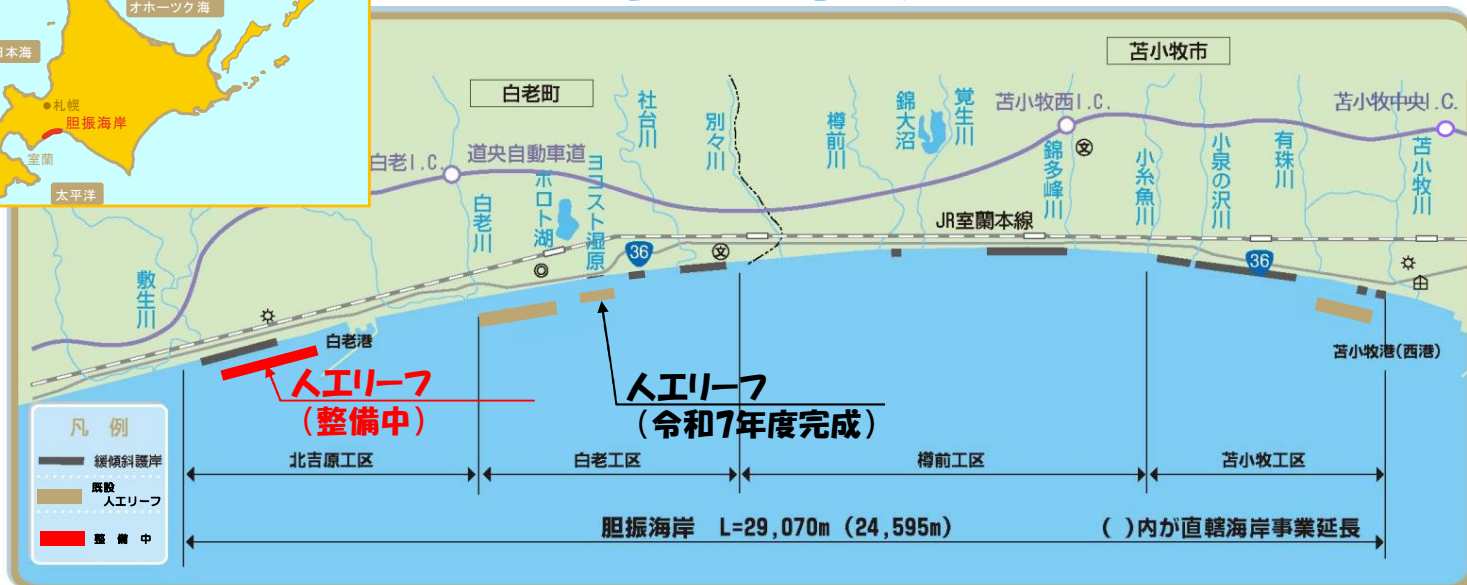
緩傾斜護岸は、波打ち際に近づきやすい環境を作り出し、地域住民など多くの方々に利用されています。

環境面の向上

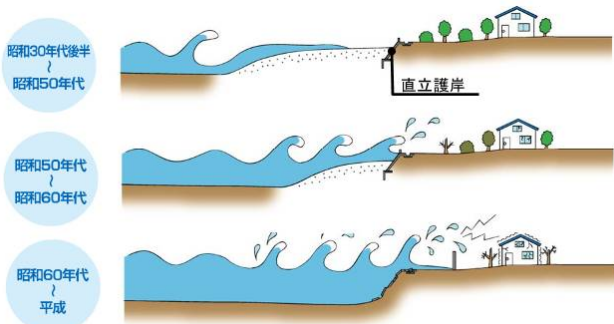


人工リーフは、天然岩礁と類似する環境を有しており、コンブの繁茂、ウニ、ナマコ等が生息できる環境も創出されました。

工事の予定



胆振海岸は、海岸侵食が著しく、従前から行われていた汀線際に護岸を設ける線の防護対策だけでは海岸を保全することが困難なことから、人工リーフと緩傾斜護岸を組み合わせることにより越波を低減させ、施設周辺の海浜の安定化を図る、面的防護による対策を実施しています。



面的防護方式
実施後
イメージ

